

前年度（令和2年度）の学校評価

重点目標	<p>(1) 地域産業の発展に寄与する有意な人材を育成するため、地域社会及び家庭との連携を密にして、主として次のことを推進する。</p> <p>ア 生徒の実態に応じて、授業改善等の指導方法の工夫に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とこれらを活用する思考力・判断力・表現力等の育成を図る。</p> <p>イ 生徒一人一人の望ましい勤労観・職業観をはぐくむため、就業体験などの機会を充実するなど系統的かつ計画的なキャリア教育を推進する。</p> <p>(2) 教職員一人一人が、明るく活力に満ちた職場環境づくりに努め、教育目標の達成に向け自己の能力を最大限に発揮するとともに、苦手な分野を互いに補完し合うことで学校の組織力の向上を図る。</p>
------	---

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
管理・運営	本年度の重点目標の教職員への浸透	・合言葉「時を守り 場を清め 礼を正す」「明るく 元気に 一生懸命」の意識付け	・合言葉を職員室へ掲示するとともに、適宜管理職より声をかけ、意識付けを行った。様々な教育活動において重点目標を意識した活動を行うことができた。
	教職員の多忙化解消	・勤務時間の適正な管理	・毎月の在校時間の調査と共に、職員への声かけ等を行った。多くの職員が在校時間から正規の勤務時間を除いた時間が1月あたり45時間以内であったが、一部45時間を超えている職員がいるので引き続き取り組む必要がある。
総務部	防災教育・体制の充実	・防災体制の確立と注意喚起資料の教室掲示	・校内の消防、警備、搬出、救護班の活動内容を明確化した資料を配布し、確認させることができた。また、各地域での防災マップの活用を促した。避難訓練時には、シェイクアウトを実施した。
	P T A ・同窓会との連携を強化	・P T A行事の活性化 ・同窓会との交流	・HP、絆ネット、P T A新聞等で情報を発信することができた。
教務部	新教育課程の編成	・教育課程委員会の開催	・臨時休業の時間も利用して新教育課程の検討を行うことができ、12月に提出することができた。現在は評価方法の検討を各教科・学科にすすめるよう依頼している。
情報図書部	情報発信の強化	・学校ホームページの活用	・各分掌に呼びかけ、更新頻度を上げることができた。また、新型コロナウイルス感染症対策に関し、案内や動画をアップすることができた。
	情報化推進	・マニュアル作成 ・情報機器管理・整備の徹底	・新しい機器が入るごとにマニュアルの更新・メソフィア（校務支援システム）への登録などを実施し、管理・整備を適切に行うことができた。
	図書館利用人数・貸出冊数の増加	・図書館オリエンテーションや各種企画の実施	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休校措置となったことから、図書館オリエンテーションは実施できなかったが、夏休み読書課題の前に国語科の授業を利用して利用方法の周知を行った。 ・読書会（ビブリオバトル）は例年通り行うことができた。
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	・挨拶の励行、時間厳守と整理整頓の推進	・学年や分掌との連携により、段階的に指導することができた。遅刻は減少している。
	規範意識の向上	・掲示物の工夫や講話の実施 ・段階的な指導の実施	・連絡事項をクラス掲示することにより、指導内容を職員や生徒へ徹底することができた。その結果、規範意識をはじめマナーの向上もはかることができた。
	いじめの早期発見と組織的な対応	・校内アンケートの実施 ・面談週間の充実	・校内アンケートを速やかに実施し、組織的に対応できた。学年主任連絡会を活用し、生徒の情報を早期に交換できるようにしていきたい。
	学校行事や部活動の活性化	・生徒会執行部を中心とした学校行事の自発的運営 ・部活動を頑張れる環境づくり	・コロナ禍により学校行事が大きく変更となったが、生徒会執行部の意向を取り入れ、進めることができた。 ・各部活動が創意工夫し、練習に取り組んでいた。生徒会として全体に働きかけをしていきたい。

進路指導部	理想のキャリア形成ができる能力の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路LT、講演会等による職業観の育成</li> <li>・進路実現に向けた基礎学力の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路LTは着実に進歩している。生徒と教員がともに学べる環境を整えられつつある。</li> <li>・今年度から1, 2年生の「朝学」を充実させるとともに、「進路小テスト」を年10回実施した。</li> </ul>
保健部	健康管理に対する意識と能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療勧告書の配布</li> <li>・保健室だよりの発行とスクールカウンセラーの有効利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により定期健康診断の実施時期は遅れたが、すべての検診において治療勧告書を配布することができた。生徒の健康管理に対する意識と能力を高めることができたと感じている。</li> <li>・ほけんだよりを毎月発行し、新型コロナウイルスに関する情報や知識を提供することができた。また、心と身体の健康について生徒自身が考える機会を設けることができた。</li> </ul>
	熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員を中心とした熱中症予防意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員の活動として熱中症についての校内放送や、WBGTの計測、グリーンカーテンの設置を行い、生徒の熱中症の予防意識の向上を図ることができた。</li> </ul>
農場部	実験実習時の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農機具の整理整頓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農具、機械、器具類の整理整頓、整備に努め、安全な実験実習が展開された。</li> </ul>
	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定や資格取得指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アグリマイスターはプラチナ1名、ゴールド1名、シルバー6名が取得し、技術顕彰は54名が合格した。昨年度と比較すると検定試験の受検や農ク全国大会の中止より大きく減少した。</li> </ul>
	農業クラブ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会における効果的な指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会を始め、県大会の運営変更等、落ち着いた指導体制が取れなかった。そのため、大きな成果が残せなかったが、来年度に向けた準備期間となった。</li> </ul>
第一学年	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの励行</li> <li>・身だしなみ指導の徹底</li> <li>・時間や期限を厳守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、ホームルームに行き、挨拶をし、教室の様子を確認しながら、時間や期限を守らせる指導と身だしなみの指導を行った。生徒個人には、ハンドブックを用い、わかりやすく説明した。その結果、基本的な生活習慣の意識づけはできてきた。</li> </ul>
	進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、LTなどを通じた進路目標の立案</li> <li>・朝の学習を活用した基礎学力の向上および将来の進路における土台の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路主任と連携をはかりながら、進路LTでは、初めてのことを行い、進路意識を高め、進路目標の立案をはかった。生徒個人にも常に進路を意識するような手順を行った。朝の学習においては、学年団で連携をはかり、集中できるよう取り組んできた。その結果、多くの生徒が意欲的に取り組み、小テストから判断すると基礎力が向上しているように感じた。</li> </ul>
第二学年	基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの励行</li> <li>・身だしなみ指導の徹底</li> <li>・時間の厳守</li> <li>・提出物などの期限厳守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と比較し、挨拶の声が小さくなった事が残念である。</li> <li>・時間を守る姿勢はこれからも意識させていきたい。</li> </ul>
	進路実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の特性に応じた進路についての情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、学校外での進学、就職説明会の機会が少なかったが、進路LT、スタサプなどの活用により自己の適正などについて考えることができた。</li> </ul>
	基本的人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事での協力体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事は縮小を余儀なくされたが、その中で自分の役割を考え、行動することができた。</li> </ul>
第三学年	進路実現と実社会に適應できる能力の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に進路目標を確立</li> <li>・進路実現の達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが、進路LT・ガイダンスを活用して進路意識を高め学力向上をはかる指導を徹底したところ生徒の進路実現が成就した。</li> </ul>
	自律と自立で人間力を醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、時間厳守、敬語の適正使用、身だしなみの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる場面で社会的な資質の向上や人間力の醸成を図る指導を徹底したところ多くの生徒に社会人としての心構えが構築できた。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	生徒の主体的な活動状況、情報発信の手法 保護者、地域とのつながり、部活動、農業クラブ活動 資格取得等の成果		